
右上の真実

初音 柊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

右上の真実

【コード】

N0156L

【作者名】

初音 柊

【あらすじ】

どうせ見るなら、楽しい夢が見たかった。

(前書き)

自分で書いといてあれですが、読んでみると頭が狂ってきました。皆さんは気をつけて下さい。

ちなみに好きな食べ物は焼鳥と肉まんです。

らない理由はない。ただ、ただ見失った自分はその存在するよう
な、そんな宛も無い、希望を掴もうとしている。

「次に君が起きた時、僕は居ないかもしれないけど、それでもちや
んとなにかは残すから」

暗闇が襲う、意識が次々と遮断され気が楽になる事すら遮断され
ていく。

「おやすみ」

なにも、かんがえることが、できなかったが、それでも、しあわ
せだけは、あたえられて、いるような、きが、していた。

見るならば、楽しい夢が見たかった。

(後書き)

なんかお疲れ様でした。

この短編について、意味が分からないという人の方が多いと思います。

ちなみに好きな動物は猫です。

説明しても良いんですが、それだとなんか悔しいんで自力で意味を見付けて下さい。

あ、クロワツサンのねじりが無いバージョンを作れる人は、パン屋さんになって美味しいフランスパンを作って下さい。

この短編は続編がそうだけど、余計に意味が分からないことになりそうだ。

それではまた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0156/>

右上の真実

2010年11月12日21時10分発行